

JH Symposium 2022

JHがつなぐ6つの国立高度専門医療研究センターの取り組み

コロナで変わる コロナを変える

2022
11/2 水
14:00-16:00

オンライン開催 参加費無料

事前登録制

どなたでも参加可能

右 QR コードから
お申し込みください。

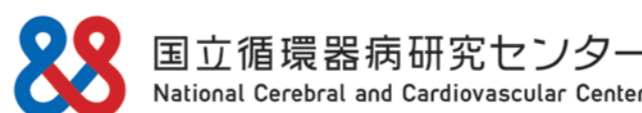


国立高度専門医療研究センター 医療研究連携推進本部 (JH) は日本の6つの国立高度専門医療研究センター (NC) の資源・情報を集約し、それぞれの専門性を生かしつつ有機的・機能的連携を行うことによって、NC が世界最高水準の研究開発・医療を目指した新たなイノベーションを創出することを目的として2020年4月に設立されました。

2回目となる JH Symposium は、新型コロナウイルス感染症をテーマに開催します。流行が始まった2020年から3年近く経ち、私たちを取り巻く環境や生活様式、考え方など、様々なことが大きく変化しました。それは、医療の現場においても同じです。JHでは、コロナ禍における変化が、医療従事者にもどのような影響を及ぼしたのか、新型コロナウイルスに対する診療、治療薬・予防薬の開発など、6つの国立高度専門医療研究センター (NC) が連携して行っている研究を支援しています。本シンポジウムでは、JH が支援する新型コロナウイルスに関する研究の成果を発表させていただきます。どなたでもご覧いただけますので、是非ご参加下さい。



国立高度専門医療研究センター
医療研究連携推進本部
Japan Health Research Promotion Bureau



問い合わせ先 jh_symposium_office@jh.ncgm.go.jp

プログラム

14:00～
14:15

開会の挨拶

中込 和幸（国立精神・神経医療研究センター理事長）

来賓挨拶

浅沼 一成（厚生労働省大臣官房危機管理・医務技術総括審議官）

JH 概要

植木 浩二郎（JH本部長：国立国際医療研究センター）

14:15～
15:40

演題① ＊新型コロナウイルス感染症 これまでにわかったこと

河岡 義裕（国立国際医療研究センター、東京大学医科学研究所）

演題② ＊新型コロナ流行は 6NC の診療にどう影響 したのか ～6NC 統合電子カルテデータベース 6NC-EHRs から見える非感染性疾患への影響～

北村 真吾（国立精神・神経医療研究センター）

演題③ ＊コロナ禍における SARS-CoV-2 抗体検査 実用化に向けた産学連携研究

濱田 哲暢（国立がん研究センター）

演題④ ＊新型コロナウイルス感染症はワクチン 接種後になぜ急拡大したのか ～抗体検査からみえたこと～

溝上 哲也（国立国際医療研究センター）

15:40～
16:00

総合討論

閉会の挨拶

國土 典宏（国立国際医療研究センター理事長）